



ACTION

転入者を受け入れてくれる風土が
“新しいことを始めたい”
そんな思いを後押ししてくれました。

Ken-ou People Interview 02



子育てをしながら、自分の夢もあきらめない暮らしができました。

仲間とともにカフェを始めたのは、保育園でのママとの出会いがきっかけでした。当初は園で挨拶をする程度でしたが、ちょっとしたきっかけで話をするうちに、お互いに食に関わるプロであることが分かったのです。次第に親しくなり、今の仕事につながる誘いを受けて。今振り返ってみても、こんな偶然の出会いが自分の人生をいい方向へ変えてくれるとは、幸運だったと感じます。新たな何かを始めようとするとき、一人で考えて、

一人で行動するのは大変です。しかも、知り合いの少ない街なら、なおさら勇気が必要です。私の場合は、保育園で出会ったカフェの代表が背中を押してくれましたが、埼玉県央エリアは旅人が往来した宿場町だった歴史からでしょうか、街の外の人に対しても地元の人々が寛容な印象を受けます。そんな風土の街なので、自分の趣味を生かした教室を始めたりお店を出そうとしたら、きっと誰かが仲間となって助けてくれるのではないのでしょうか。

Ken-ou People Profile

仲野歩さん

山梨県出身、ご主人と2人の子どもの4人暮らし。結婚後、ご主人の転勤によりこのエリアに移り住んでおよそ6年。カフェでは料理を担当。



気になるホッペを聞きました

Q. 知らない街に不安はありましたか？

確かに不安でした。でも、家にこもっていてもだめだと思ひ、外に出るようになり、仲間と出会いました。

Q. 不便に感じることはないですか？

「ない」がホッペです。買い物するところもいっぱいありますし、子どものための病院も選べるほどです。

Q. 都心などとの違いは感じますか？

もちろん、都心に比べておしゃれなお店は多くありません。でも、人々に気軽に声をかけられる雰囲気魅力です。

Q. この街に暮らしての将来の夢は何ですか？

家族もちろん、自分も楽しく輝いて、そして笑顔が絶えない暮らしをしていきたいです。

4市1町ともに農業が盛んで、新鮮野菜が手に入ります。



図書館には、子育て中のママにうれしい料理本が並びます。



駅周辺の繁華街や郊外の大型店など買い物スポットも充実。



子育て安心 DATA

仕事と家庭のバランスについて

共働きですか？

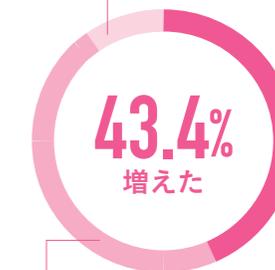
28.6% はい



埼玉県央エリアで子育て中のママは、専業主婦の割合が7割を超えました。都会に比べて、住まいや生活に関わる費用が抑えられるため、育児に専念できる環境にあると考えられます。

家族で過ごす時間は？

10.8% 増えていない



45.8% どちらとも言えない

このエリアに移り住む前後で比較してもらいました。自信をもって「増えた」との回答が4割強という結果に。共働きをせずとも、経済的に時間的に希望に沿った生活が送れている人々の姿が見えてきました。

埼玉県内における平成27年度の女性のプチ起業（融資金額300万円以下）は、前年度に比べ5割ほど増加しました。自らのライフスタイルを大切にしたい、小規模な創業に関心が高まっています。

Voice from 日本政策金融公庫さいたま支店 阿部さん